

Ⅲ 霧島市男女共同参画施策の実施状況

重点課題1 男女共同参画の視点に立った制度・慣行の見直し、意識の改革

施策の方向 (1) 男女共同参画の視点に立った制度や慣行の見直し

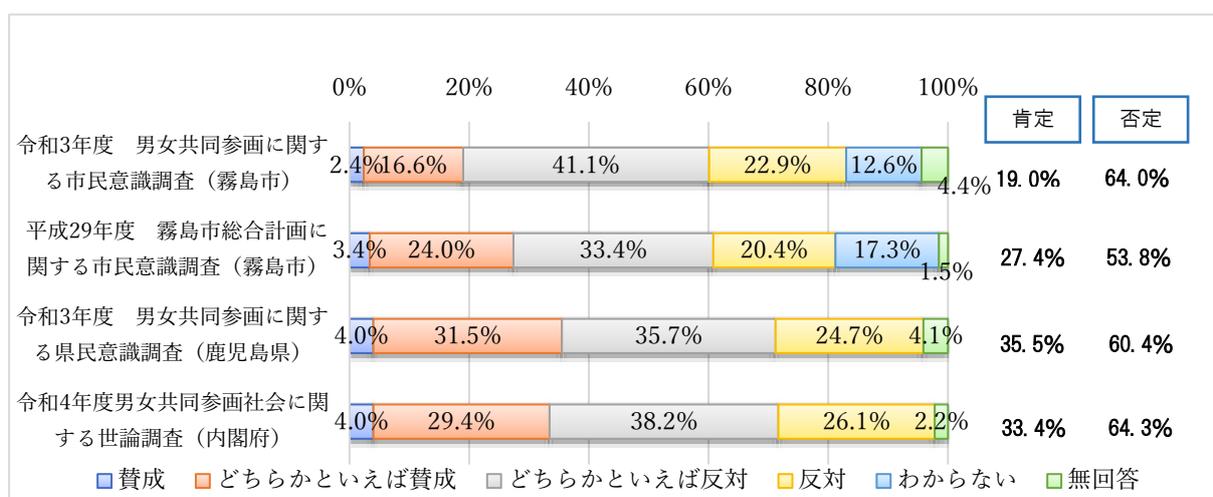
施策の方向 (2) 男女共同参画に関する広報・啓発の実施

施策の方向 (3) 男女共同参画に関する調査研究、情報収集

1 統計情報等

(1) 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について

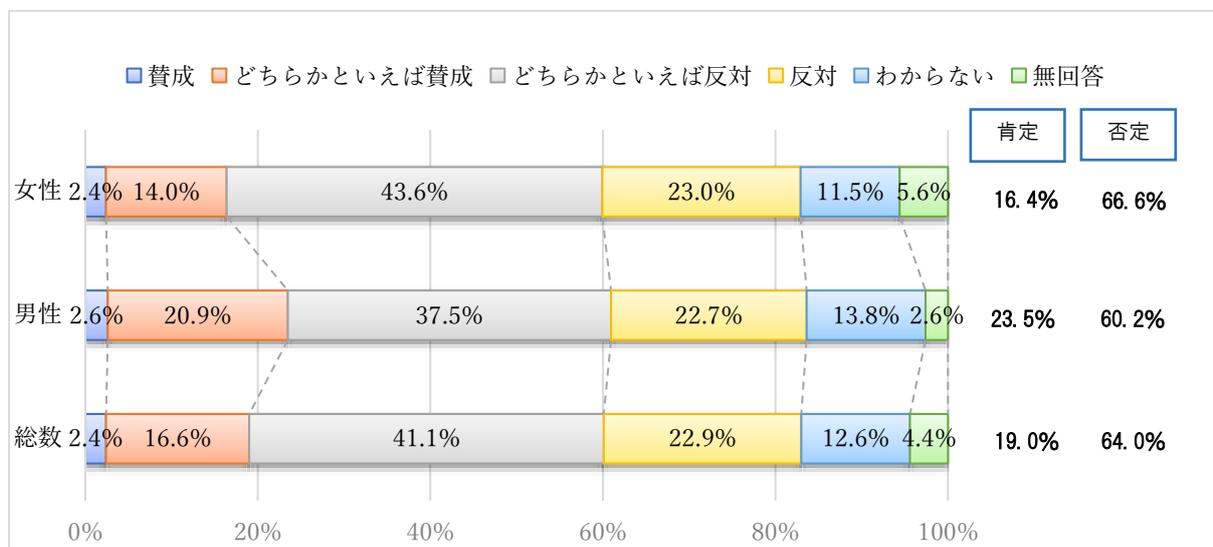
市民意識調査によると、「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、「肯定」（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）の割合は前回調査より減少した。県や全国と比較すると「肯定」の割合は低くなっている



霧島市：令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査、平成29年度総合計画に関する市民意識調査
鹿児島県：令和3年度男女共同参画に関する県民意識調査、内閣府：令和4年度男女共同参画社会に関する世論調査

○男女別比較

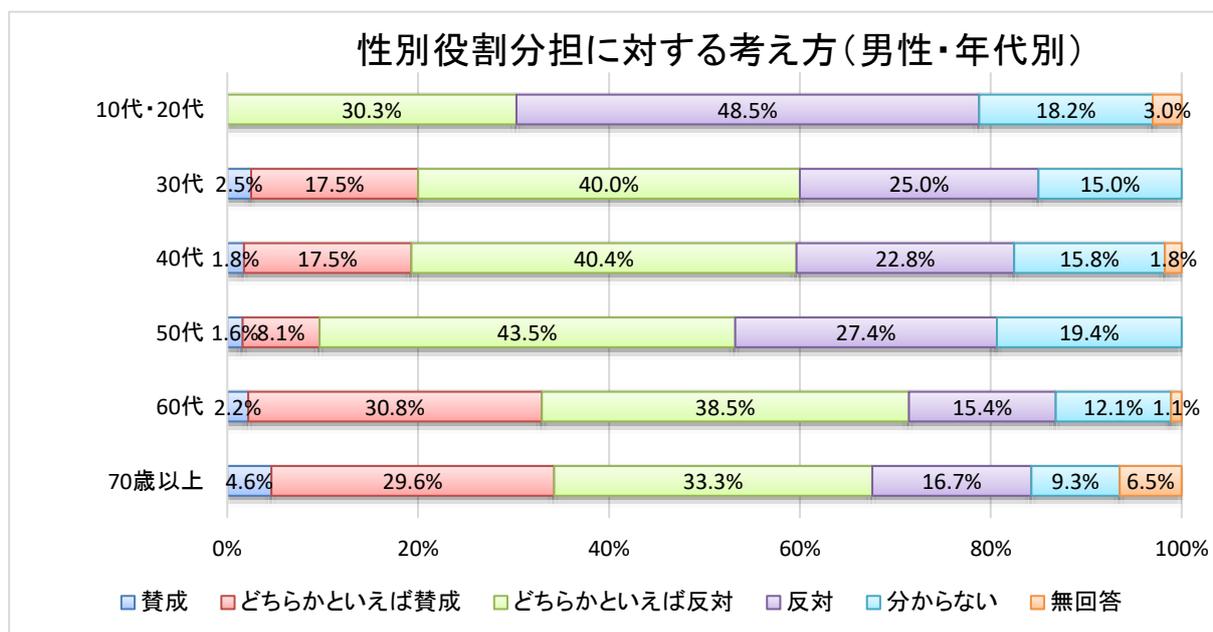
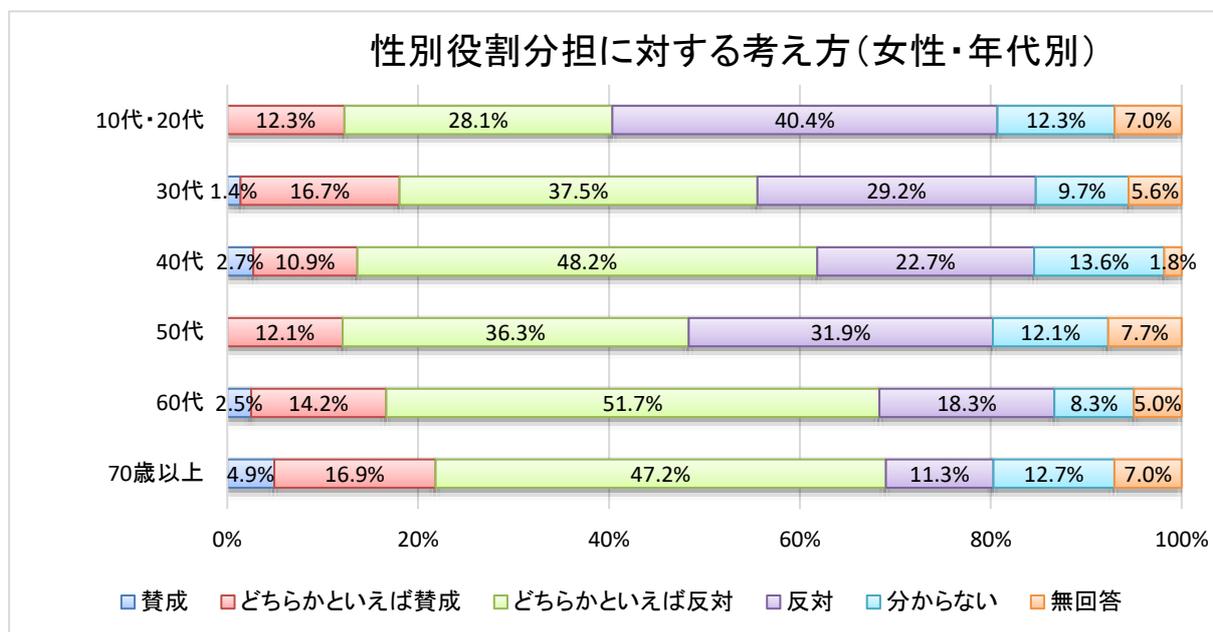
男女とも「否定」が「肯定」を大きく上回っている。



霧島市：令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査

○性別・年代別比較

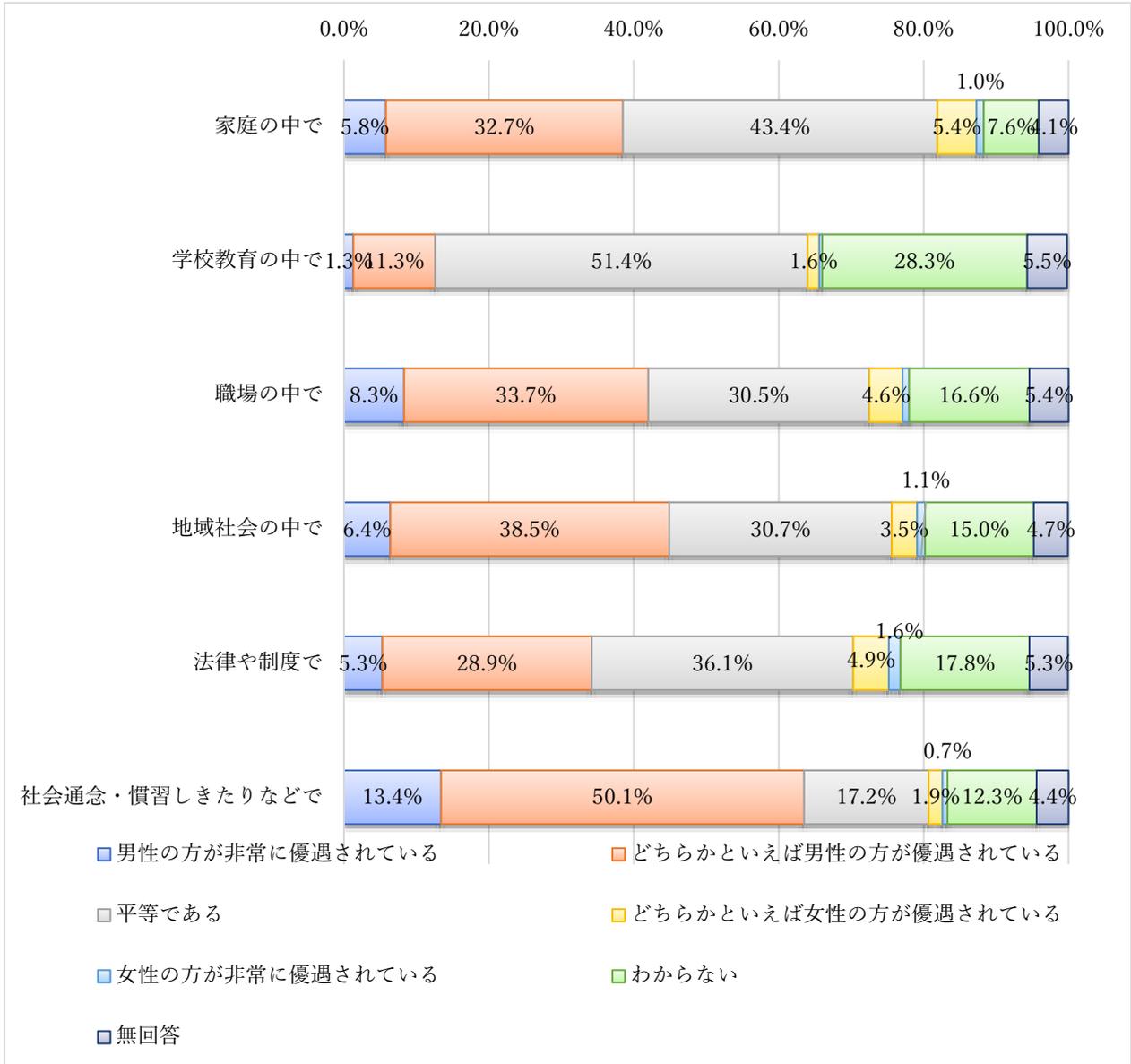
性別・年代別に見ると、「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、賛成の割合は男女とも70歳以上が最も高くなっている。一方、反対の割合は男女ともに10代・20代が高くなっている。



霧島市：令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査

(2) 様々な分野における男女の地位の平等感について

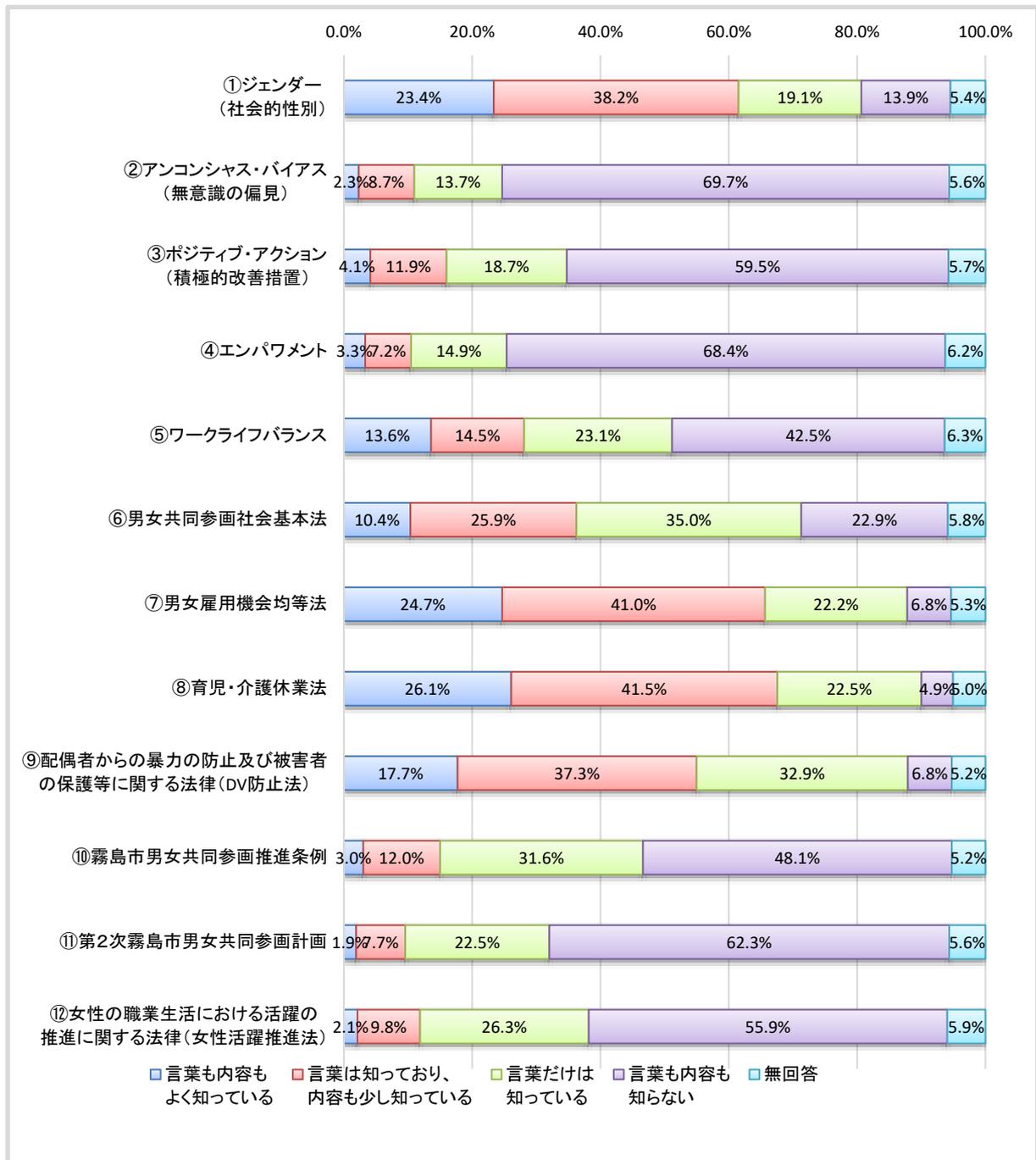
いずれの項目も、『男性の方が優遇されている』（「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計）の割合が『女性の方が優遇されている』（「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の合計）の割合を上回っている。



霧島市：令和4年度霧島市総合計画に関する市民意識調査

(3) 男女共同参画関連用語の認知度

市民意識調査によると、男女共同参画関連用語について、「言葉も内容も知らない」という回答割合が高い用語は、「アンコンシャス・バイアス」(69.7%)、「エンパワメント」(68.4%)となっている。



霧島市：令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査

2 事業実施状況

施策の方向(1) 男女共同参画の視点に立った制度や慣行の見直し

具体的施策① 男女共同参画の推進に関する施策の総合的・計画的推進

1	男女共同参画の視点に立った施策の策定・実施（全課）
	各施策において、所管課が男女共同参画の視点を踏まえて取り組んだ。結果は施策No.2以降に掲げるとおりである。
2	男女共同参画計画に基づく関連施策の進行管理（市民課）
	各事業担当課に、前年度実施事業の振り返りを行うため、「男女共同参画進行管理表」の提出依頼を行い、進行管理表の点検、聞き取りを行った

具体的施策② ジェンダーに配慮した相談体制の充実

3	性別に起因する問題や悩みを抱える市民からの相談への対応（市民課）
	女性相談などの性別を限定した相談窓口は設けておらず、人権相談等の利用案内を行う形を採っている。 また、法務省が設けている「女性の人権110番」の広報ポスターを常時掲示し、窓口の周知に努めた。
4	民生委員・児童委員による相談対応（保健福祉政策課）
	地域住民が安心して暮らし続けることができるよう、民生委員児童委員が、地域に密着した福祉活動に取り組んだ。 令和6年3月31日現在における民生委員児童委員の男女比は次のとおり（定数286人） ○男性121人（42.3%） 女性159人（55.5%） 欠員 6人（2.1%）
5	人権擁護委員による相談対応（市民課）
	法務局霧島支局での常設相談所のほか、年間44回の市庁舎等における特設相談所を開設している。（8月の国分会場は荒天のため中止） ■令和5年度 特設相談所開設状況（計43回） ○国分11回 ○溝辺5回 ○横川5回 ○牧園5回 ○霧島5回 ○隼人7回 ○福山3回、市民SC2回

施策の方向（２） 男女共同参画に関する広報・啓発の実施

具体的施策① 男女共同参画の理解を深めるための普及・啓発

6	<p>「男女共同参画週間」を中心とした広報・啓発（市民課）</p> <p>■『鹿児島県男女共同参画週間』（令和5年7月25日～31日）の期間中に以下の通り実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの展示（シビックセンター1階共通ロビー） ・ジェンダーパネル、パンフレット展示（共通ロビー・各総合支所） ・DVD放映（メディアセンター大型スクリーン） ・男女共同参画に関する図書等の特集コーナー設置（国分図書館・隼人図書館） <p>広報きりしま、市ホームページ、FMきりしまによる広報</p> <p>■令和6年2月29日～3月15日（国際女性デーを含む左記の期間）</p> <p>市民団体と協働によるジェンダーに関する展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霧島あるあるジェンダーパネル（共同参画シティズンシップ霧島） ・男女共同参画かるた（はやと草の根会）
7	<p>男女共同参画に関する地区別セミナー等の開催（市民課）</p> <p>次のとおりセミナー等を開催した。</p> <p>■地区別セミナー 2地区（講師 はやと草の根会）</p> <p>総参加人数 53人（男性26人、女性15人、不明12人）</p> <p>■エンパワメントセミナー</p> <p>講師 共同参画・キャリアサポートHUB 山口 真理さん</p> <p>参加人数 9人</p> <p>■子どものための男女共同参画教室（4箇所）</p> <p>講師 鹿児島県男女共同参画推進委員</p> <p>総参加人数 65人</p> <p>■男女共同参画防災職員研修</p> <p>講師 鹿児島県専門防災アドバイザー 堀之内 広子さん</p> <p>参加人数 市職員108人</p>
8	<p>男女共同参画に関する図書等の整備（国分図書館）</p> <p>図書館入り口の展示コーナーにて、男女共同参画に関するポスターの掲示、資料の提供、図書の紹介を行い、コーナーの広報をホームページ、図書館だよりで行った。</p> <p>男女共同参画に対する意識、理解を深める書籍を今後も購入し、広報活動を続けていく。</p>

8	<p>男女共同参画に関する図書等の整備（メディアセンター）</p> <p>メディアセンターが所有している映像教材で「男女共同参画」として分類されているDVDの総本数は24本、「人権・同和問題」に分類されている映像教材の中で、男女共同参画に関する内容に触れているものは7本である。このうち、8回の貸し出しがあり、579人の市民が学習した。</p> <p>学校等で研修の機会が増える長期休業前（6月、12月）には、県視聴覚連盟から男女共同参画に関する9本の映像教材を取り寄せ、各学校に一覧を送付した。夏季休業中に14回の貸し出しがあり、237人の学校職員、402人の小学生、100人の高校生が学習した。</p>
9	<p>人権に関する啓発講演会等の開催（市民課）</p> <p>下記の人権啓発推進まちづくり事業を実施した。</p> <p>①人権問題職員研修：11月（100人） 講 師：鹿児島県人権同和对策課 人権研修推進員 常深 透 さん</p> <p>②人権の花運動：4～12月 市内小学校6校（2,259人）</p> <p>③北朝鮮拉致被害者家族・特定失踪者家族支援のための署名活動</p> <p>④霧島市じんけんフェスタ：11月3日（179人）</p> <p>ジェンダー平等を主題に据えた講演会を開催し、参加者の理解度深化を促すことにつながった。</p> <p>テーマ：ジェンダー平等について一緒に考えてみませんか？ 講 師：三輪 敦子 さん 一般財団法人 アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）所長 国連ウィメン日本協会副理事長</p>
10	<p>人権啓発センターにおける人権に関する学習会等の実施（市民課）</p> <p>■令和5年度人権啓発センター教室生及び講師等を対象に次のとおり人権学習会を開催した。</p> <p>①DVD視聴「今ここにいる人としっかり出会う」一同和問題一 5月1日～19日（148名）※各教室の開講式に合わせて11回実施</p> <p>②講演「高齢者の人権」私の声が見えますか？ 8月3日（68名）</p> <p>③講演「障がいのある方の人権」みんなで繋ぐえがおの輪 11月13日（66名）</p> <p>④講演「ハンセン病差別の構造と私たちの責任」 1月20日（249名）※部落解放第17回霧島市研究集会時（市民対象）の学習</p> <p>⑤DVD視聴「人権のすすめ」ハラスメント・性の多様性・障がいのある方の人権をテーマにドラマでの気づきを通して多角的に人権問題を学ぶ。3月23日（88名） ※閉講式時に実施</p> <p>■小中学校児童生徒等を対象に次のとおり人権学習会を開催した。</p> <p>・星塚敬愛園人権啓発現場研修（社会交流館見学・園内見学・入所者講演・納骨堂お参り） 12月26日（13名）</p>

11	人権学習会等の開催（社会教育課）
	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども人権セミナー 3校（319名） （国分中 168名、木原中 42名、横川中 109名） ●地域人権講演会 4施設（157名） （霧島保健福祉センター、宮内地区公民館、横川公民館、牧園活性化センター） ●人権出前講座 8校（1,215名） （高千穂小、富隈小、国分小、日当山中、国分南中、舞鶴中、陵南中、牧之原特別支援学校） ●出前講座 8回（182名） （高陵寺保育園、大田小、小浜小、宮内小、永水小、福山小、国分北小、国分南中）

具体的施策② 市職員の男女共同参画に関する理解促進

12	男女共同参画に関する職員研修の実施（市民課）
	<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画防災研修：5月（108人） ■人権問題職員研修：11月（100人）
13	「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」の活用（市民課）
	文書やパンフレット、出版物等を作成する際は、性別のイメージの固定化につながる表現、また男女のいずれかに偏った視点を感じさせる表現にならないよう心掛けた。

施策の方向（3） 男女共同参画に関する調査研究、情報収集

具体的施策① 男女共同参画の現状等に関する情報等の収集・提供

具体的施策② 調査や統計における男女別統計（ジェンダー統計）の充実

14	男女共同参画年次報告書の作成及び公開（市民課）
	第3次霧島市男女共同参画計画（霧島市配偶者等からの暴力防止及び被害者支援に関する計画、女性活躍推進法に関する推進計画を含む）について、進行状況を各課に照会し、年次報告書を作成した。霧島市男女共同参画審議会に提出し、協議後、市HPにて公開した。
15	各種調査における性別によるデータの把握及び分析（市民課）
	令和5年度 各種調査実績なし（調査実施年度ではないため） 令和6年度に企業実態調査を実施予定

3 数値目標の推進状況（一は現状値が把握できない項目）

項目	現状値 （計画策定時）		現状値		目標値	
	数値	年度	数値	年度	数値	年度
「男性は仕事、女性は家庭」という固定的な性別役割分担に『反対』と思う市民の割合	66.9%	2021	—	—	69.0%	2027

※計画策定時の数値は令和3（2021）年度の市民意識調査時の数値である。